

# 神奈川県農業気象速報（旬報）

令和2年7月下旬

第36巻第21号 令和2年8月3日発行

神奈川県  
横浜地方気象台

## 目次

気象概況	表紙
気象要素分布図	1
日別気象経過図	2

### 気象概況

梅雨前線が関東地方から東北地方に停滞したため、雨の日が多くなりました。また、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、雷を伴った日もありました。

旬平均気温は24.4～25.1℃で、全地点で平年より低くなりました。旬間日照時間は11.5～24.2時間で、全地点で平年よりかなり少なくなりました。旬降水量は61.5～309.5mmで、平年より多く、かなり多い地点もありましたが、海老名と辻堂では平年並みとなりました。

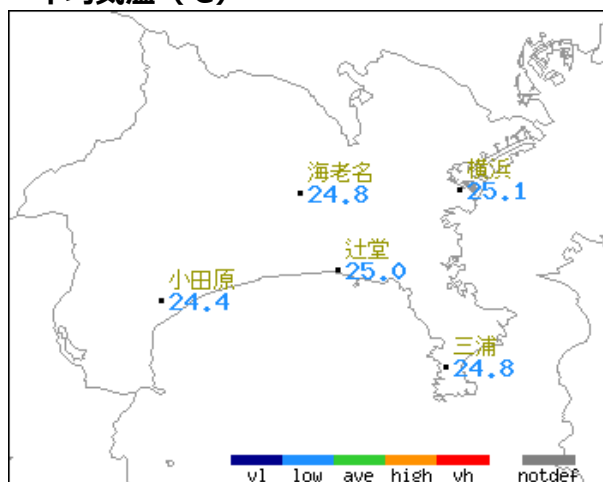
### 横浜の天気

- 21日 前線を伴った低気圧が日本海を東に進み、湿った空気が流れ込んだため、曇時々雨。
- 22日 梅雨前線が関東地方に停滞したため、大雨後曇一時晴で雷を伴う。
- 23日 梅雨前線が関東地方に停滞したため、雨時々曇。
- 24日 前線が関東地方を北上したため、曇時々雨。
- 25日 梅雨前線が東北地方を北上し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、雨時々曇で雷を伴う。
- 26日 梅雨前線が東北地方に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、曇後雨時々晴で雷を伴う。
- 27日 梅雨前線が東北地方に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、曇時々雨。
- 28日 梅雨前線が日本海から東北地方に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、雨時々曇。
- 29日 梅雨前線が西日本から伊豆諸島付近に停滞し、湿った東寄りの風が流れ込んだため、曇時々雨。
- 30日 気圧の谷や湿った空気の影響により、曇時々雨。
- 31日 日本の南の高気圧に緩やかに覆われましたが、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響により、曇時々雨一時晴。

横浜の旬平均気温は平年より低く、旬間日照時間は平年よりかなり少なく、旬降水量は平年より多くなりました。

# 令和2年(2020年)7月下旬の気象要素分布図

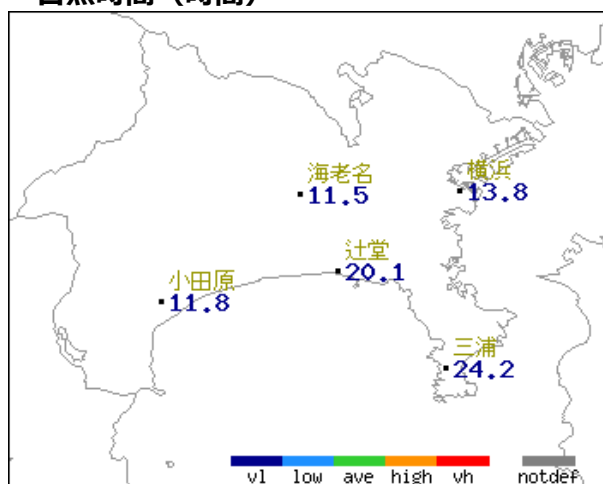
## 平均気温 (°C)



地点名	実況値	平年値	平年差
海老名	24.8	26.2	-1.4
横浜	25.1	26.2	-1.1
辻堂	25.0	25.9	-0.9
小田原	24.4	25.6	-1.2
三浦	24.8	25.5	-0.7

凡例 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 × : 資料なし

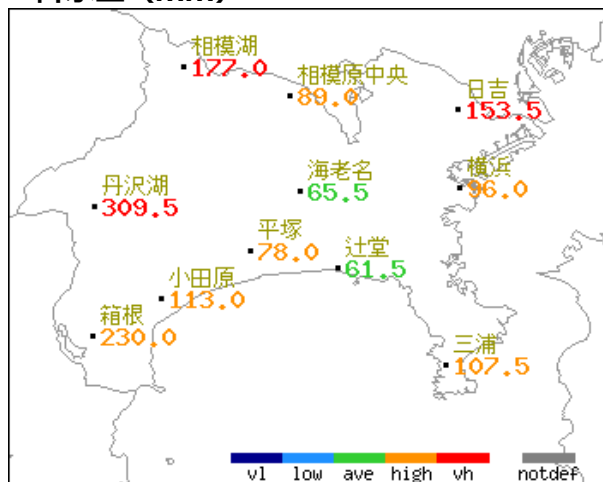
## 日照時間 (時間)



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
海老名	11.5	66.0	17
横浜	13.8	69.1	20
辻堂	20.1	71.1	28
小田原	11.8	68.9	17
三浦	24.2	75.9	32

凡例 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 × : 資料なし

## 降水量 (mm)



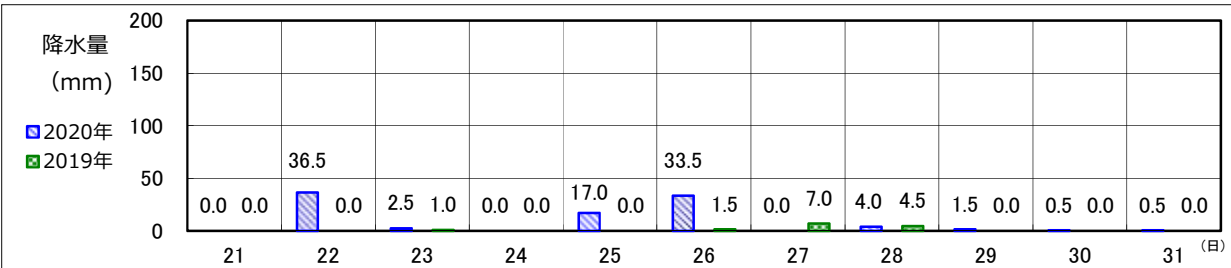
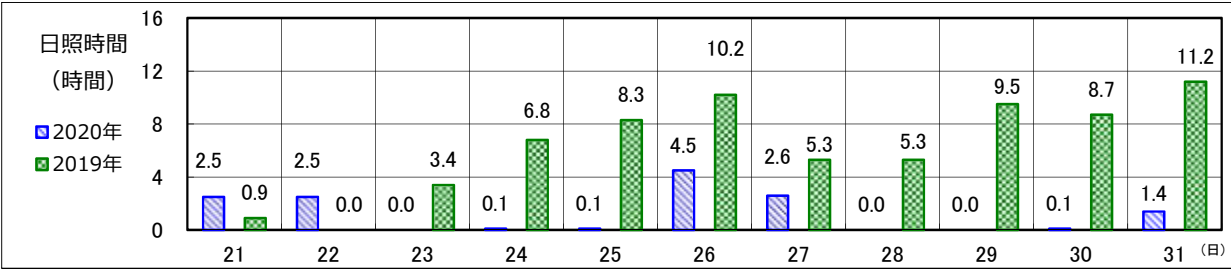
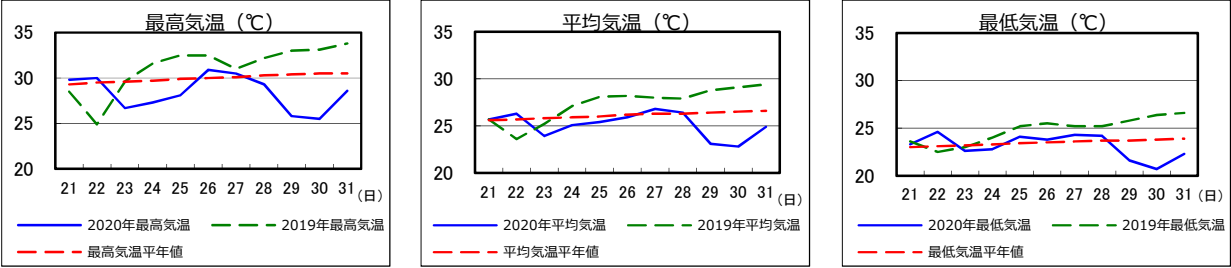
地点名	実況値	平年値	平年比(%)
相模湖	177.0	70.2	252
相模原中央	89.0	73.1	122
日吉	153.5	54.6	281
丹沢湖	309.5	83.3	372
海老名	65.5	65.6	100
横浜	96.0	55.9	172
平塚	78.0	53.4	146
辻堂	61.5	59.4	104
箱根	230.0	132.9	173
小田原	113.0	58.3	194
三浦	107.5	44.1	244

凡例 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 × : 資料なし

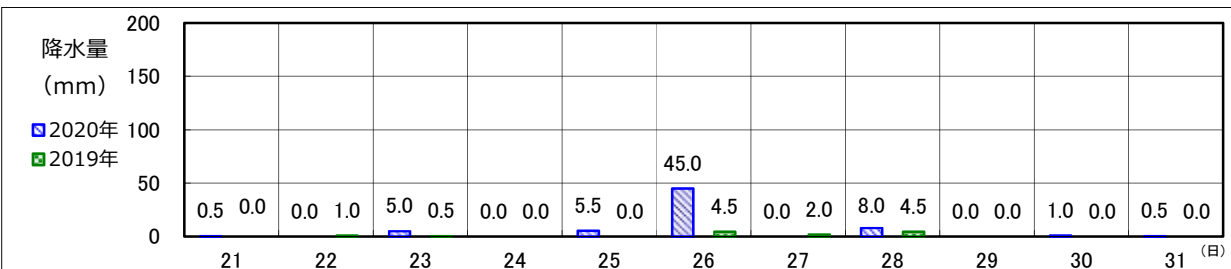
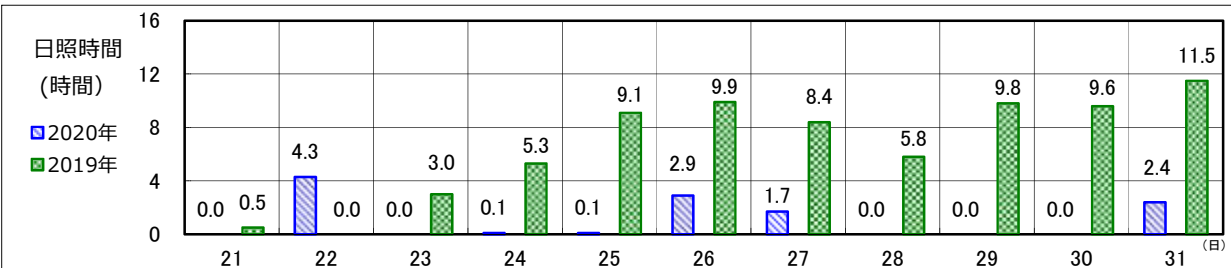
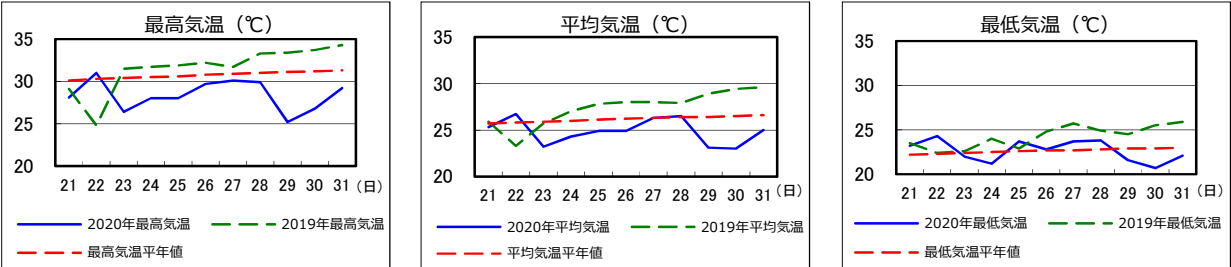
# 日別気象経過図

令和2年(2020年)7月下旬

## 横浜



## 海老名

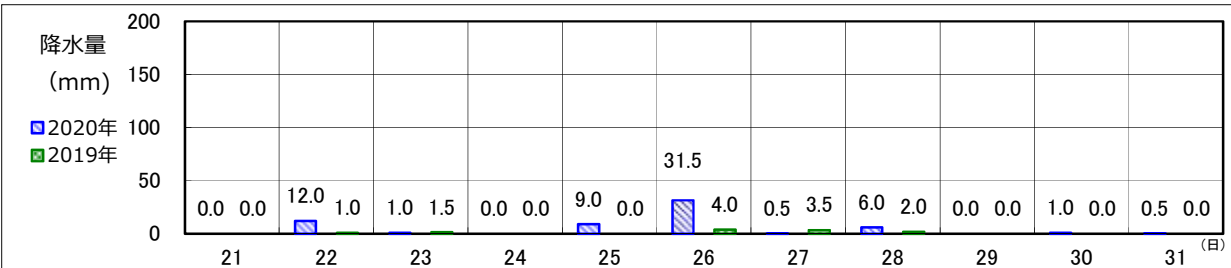
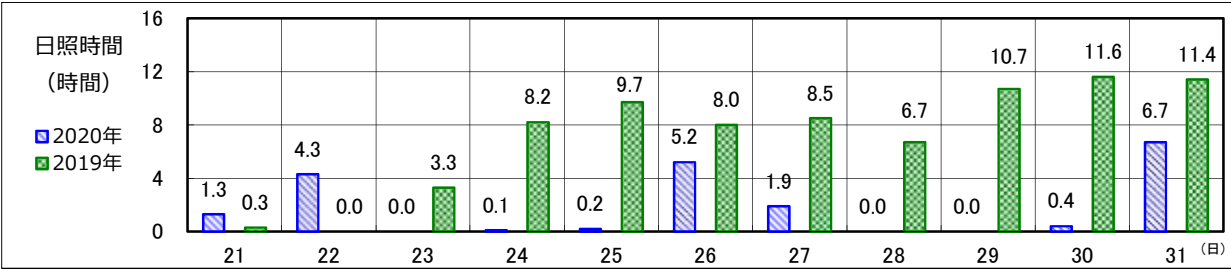
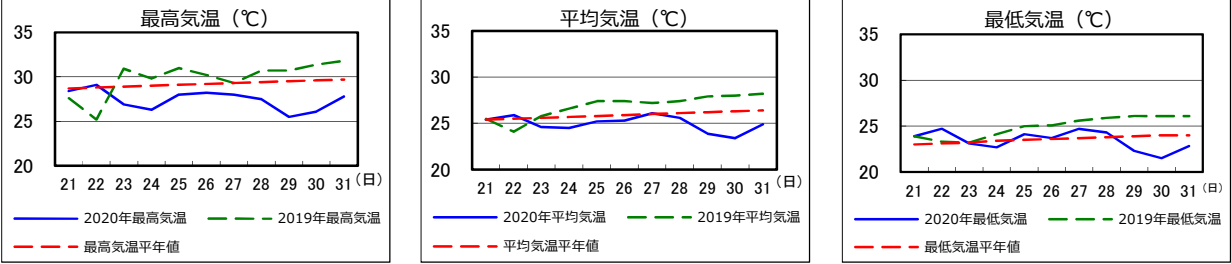


※ 参考のため、前年同旬のグラフも併せて掲載しています

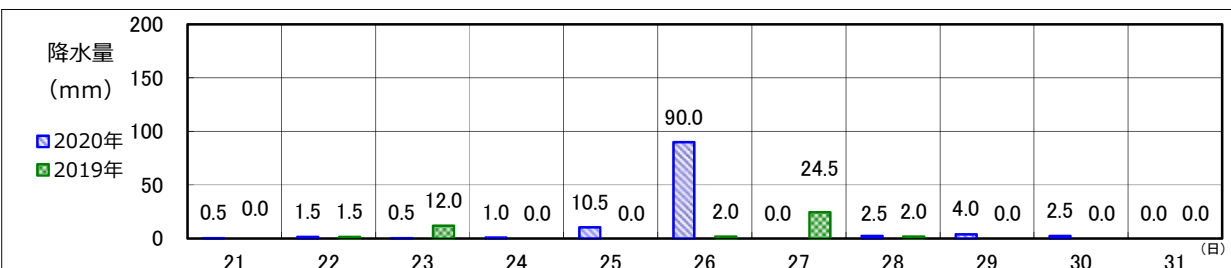
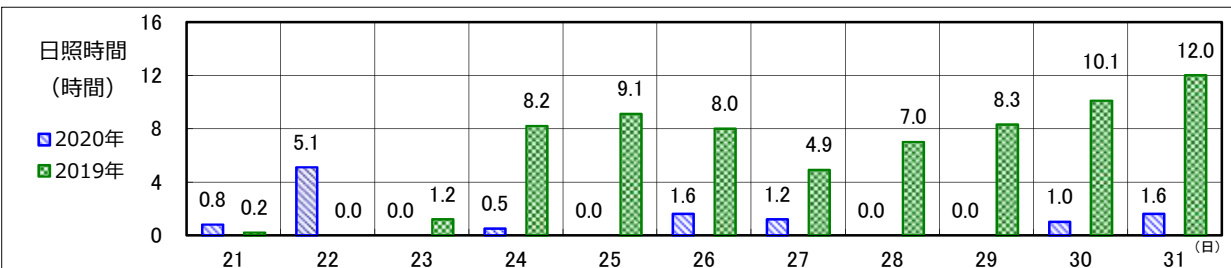
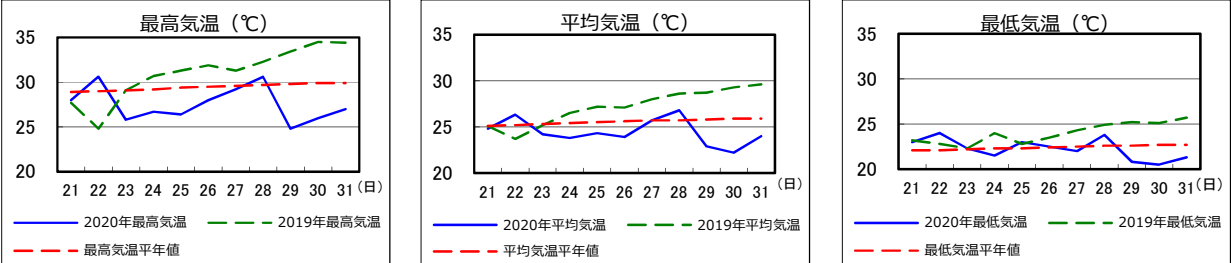
# 日別気象経過図

令和2年(2020年)7月下旬

## 辻堂



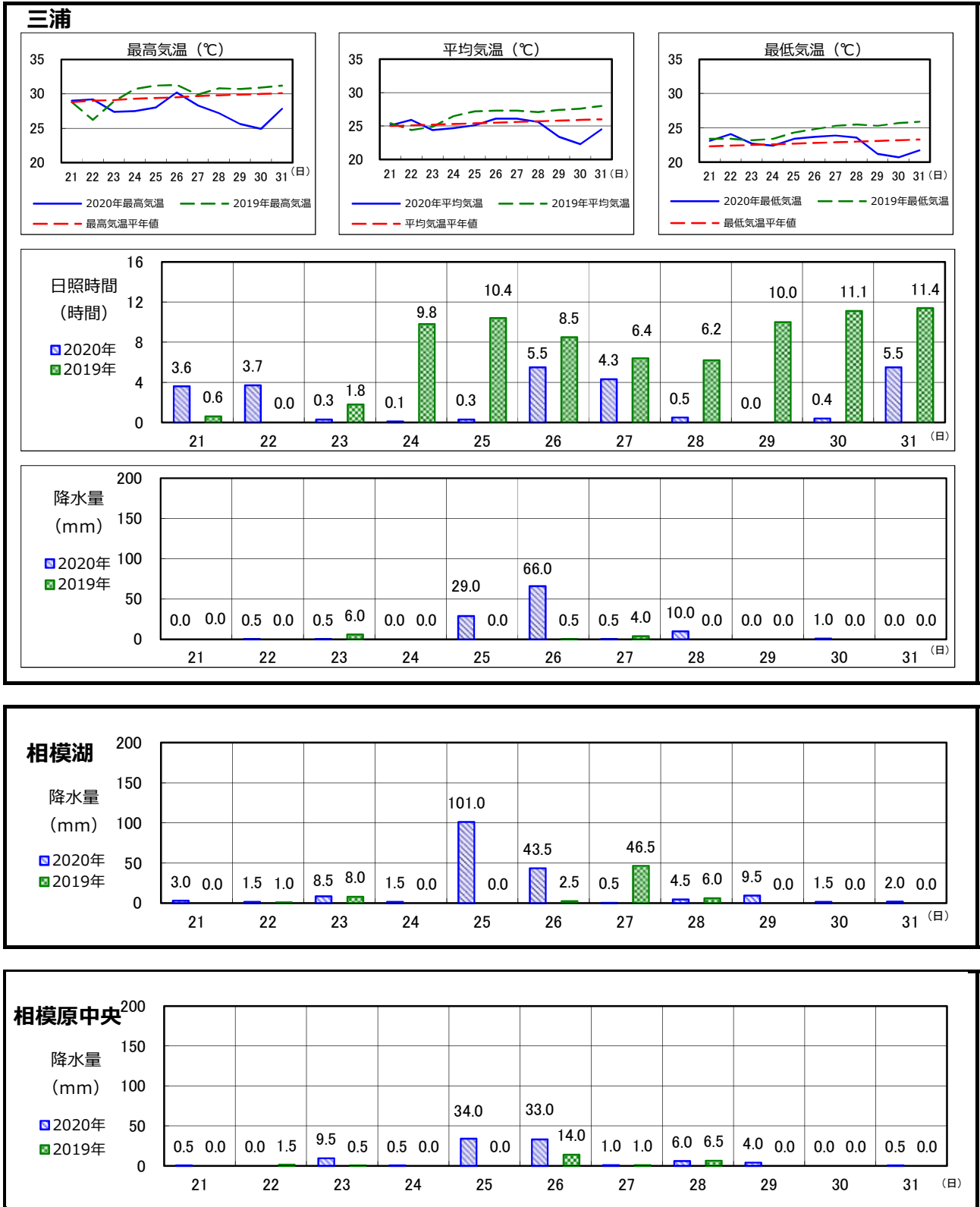
## 小田原



※ 参考のため、前年同旬のグラフも併せて掲載しています

# 日別気象経過図

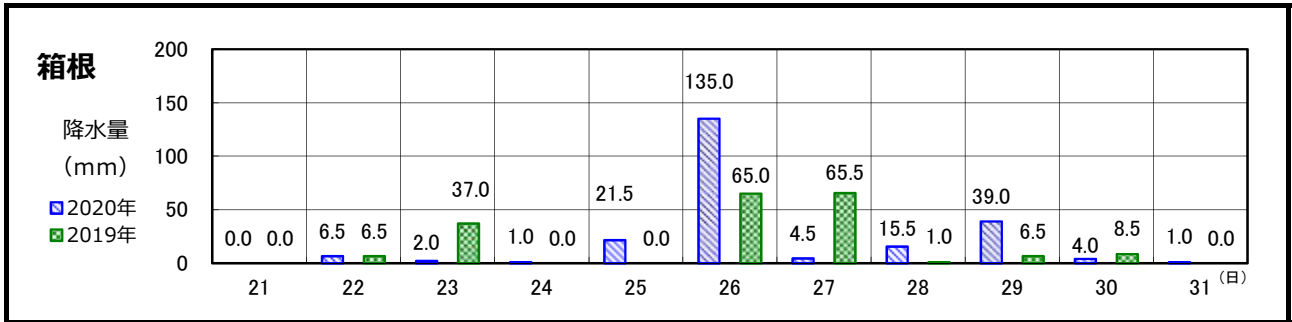
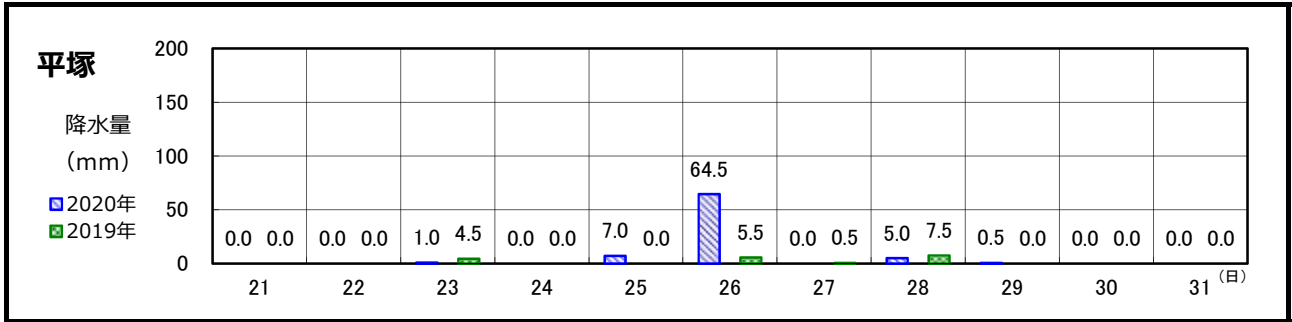
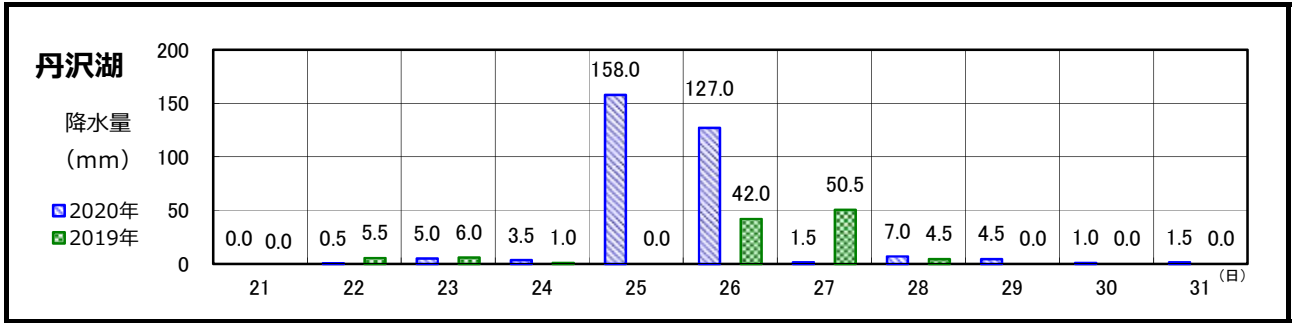
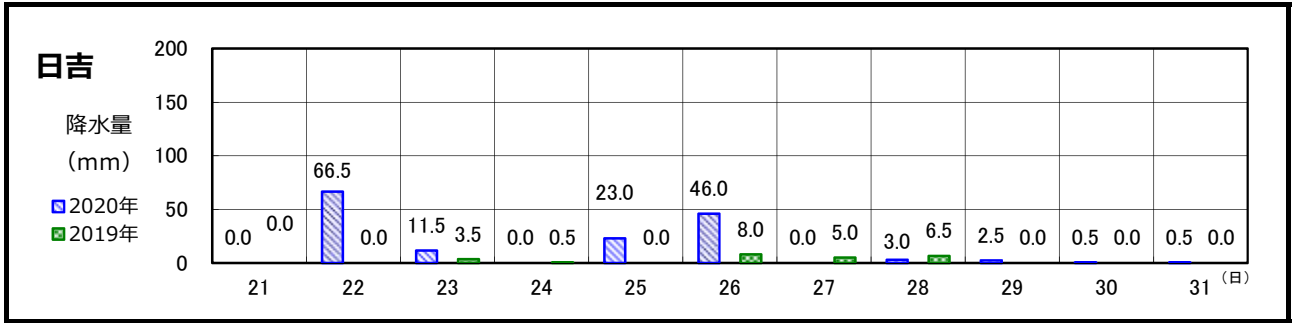
令和2年(2020年)7月下旬



※ 参考のため、前年同旬のグラフも併せて掲載しています

# 日別気象経過図

令和2年(2020年)7月下旬



※ 参考のため、前年同旬のグラフも併せて掲載しています

## 情報の閲覧・検索のご案内

掲載されていないデータや最新のデータについては、気象庁ホームページ(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)や、横浜地方気象台(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/index.html>)の神奈川県版気象庁HPデータリンク集をご覧ください。

☆神奈川県版気象庁HPデータリンク集からのデータ検索や取得

(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/datakanagawa.html>)

- 警報・注意報、気象情報・・・神奈川県の現在発表されている情報が閲覧できます。
- 過去の気象災害・・・神奈川県の主な災害を閲覧できます。
- 天気予報、週間予報、1 か月予報、2 週間気温予報、早期天候情報、3 か月予報・・・現在発表されている情報を閲覧できます。
- 台風経路図・・・過去の台風の経路の資料を検索できます。

☆気象庁HPからの観測データの検索や取得

- 過去の気象データ・ダウンロード・・・昨日までの気象観測データから、複数地点の複数項目を、数日間の平均・合計値の集計や平年値や最近の数年間平均値と比較することができます。データは CSV ファイルとしてダウンロードできますので、簡便に市販の表計算ソフトに取り込むことができます。

(<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>)

- 神奈川県内の極値・順位値更新・・・極値・順位値の状況を閲覧できます。  
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/koumoku/ruinenjuni.htm>)
- 天候の状況・・・低温・少雨・日照不足などの状況を、全国各地の気温・降水量・日照時間の 5 日以上平均(合計)値やその平年差・平年比でも検索できます。  
(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/tenkou/indexTenkouTem5dhi.html>)
- 気候リスク管理・・・向こう 2 週間・1 か月の予測資料が閲覧できます。  
(<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/>)
- 地球環境・気候・・・異常気象、最近の天候、地球温暖化に関するリンクがまとめられています。( <https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/menu/index.html> )
- 生物季節観測の情報・・・さくら、かえで、つばめ、あぶらぜみ等の開花や紅(黄)葉、初見、初鳴などの生物季節観測の情報が閲覧できます。  
(<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>)
- 過去の災害をもたらした台風・大雨・地震・火山噴火等の自然現象のとりまとめ資料・・・暴風・豪雨・地震等の自然現象による災害が発生した場合に、災害を引き起こした現象や気象庁のとした措置等の概要を取り纏めた災害時自然現象報告書を閲覧できます。  
([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saigai\\_link.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saigai_link.html))
- 関東甲信地方版「農業に役立つ気象情報の利用の手引き」  
・・・農業分野において、気象情報をさらに効果的に利用していただくための手引きです。  
([https://www.jma-net.go.jp/tokyo/sub\\_index/ntebiki/](https://www.jma-net.go.jp/tokyo/sub_index/ntebiki/))

## 資料についての説明

平年値の統計期間は以下を除き 1981 年～2010 年。

辻堂は 1992 年～2010 年。日照時間の海老名、小田原は 1986～2010 年。日照時間の三浦は 1987～2010 年。

文中、図中の「平年並(ave)」、「高い(多い、high)」、「低い(少ない、low)」、「かなり高い(かなり多い、vh)」、「かなり低い(かなり少ない、vl)」は解説用階級区分値による。

解説用階級区分値：ある気象要素の分布を、値の大(高)、小(低)によって複数の群(階級)に分けたとき、各群の境界値を階級区分値といい、平年よりの違いの程度を平文で表す場合に用いている。

平均気温(°C)：旬平均は日平均気温の期間平均値。日平均気温は 1 日の毎正時(1 時～24 時、日本標準時、以下同様)の気温(24 回)の平均値。平年差は平年値との差(°C)。

日照時間(h)：旬合計は日の日照時間の期間合計値。日の日照時間は 1 日の毎正時の日照時間(24 回)の合計値(日の日照時間)。0.1 時間未満は「0.0」で表す。平年比は平年値に対する比(%)。

降水量(mm)：旬合計は日降水量の期間合計値。日降水量は 1 日の毎正時の降水量(24 回)の合計値。0.5mm 未満、無降水は「0.0」で表す。平年比は平年値に対する比(%)。

正時の日照時間(降水量)は、前 1 時間の観測値を合計した日照時間(降水量)である。

準正常値：統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが許容する資料数を満たす場合をいい「 $\uparrow$ 」を付ける。

資料不足値：統計値を求める対象となる資料が許容する資料数を満たさない場合をいい「 $\downarrow$ 」を付ける。

資料なし：統計値を求める対象となる資料が参考値もなく欠測により全くない場合をいい該当欄を「 $\times$ 」とする。

横浜の天気は各日の天気は、横浜の昼(6 時～18 時)の天気概況。ただし、夜間急変した場合は夜(18 時～翌日 6 時)の天気も記載する。

### ©横浜地方気象台 2020

(1) この資料は、気象に要因する農業災害の防止軽減、気象の利用による農業技術の合理化及び農業生産性の向上を図るために横浜地方気象台と神奈川県で共同発行しているものです。

(2) 本資料は、横浜地方気象台ホームページの利用規約 (<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/copyright.html>) に準拠します。

(3) 本資料に含まれているデータ等を利用した場合は、「神奈川県・横浜地方気象台提供」と明記願います。

問合せ先：横浜地方気象台

電話 045-621-1999